

# 二宮忠八がつないだ縁

## 中学生同士が交流

夏休み期間を利用し、愛媛県八幡浜市の中学生15人が、8月17日〜19日に本市を訪れ、市内の中学生12人と交流を深めました。

### 愛媛県・八幡浜市

### 京都府・八幡市

両市は「八幡」という字と読みが一致している縁や、ライト兄弟よりも先に飛行原理を発見した二宮忠八に関わりがあることから、平成25年に交流事業を開始。新型コロナウイルスの影響で中止が続いていましたが、3年ぶりに行われることになりました。

初日に生徒たちは、両市の魅力をお互いに発表した後、清水八幡宮を見学し、記念撮影をするなどして親睦を深めていきました。

このほか、忠八が創建した飛行神社などを訪問し、本市の歴史や文化を勉強。松花堂では、茶室でのお茶席体験やNPO法人八幡たけくらぶの指導のもと、竹からあかりがもれるよう電動ドリルで穴を開けて竹あかりを制作。広場に並べた竹あかりを夕暮れにライトアップすると、周囲が幻想的な光に包まれ、生徒たちは風情ある光景を楽しみながら交流会の感想などを話していました。



写真上―清水八幡宮の前で記念撮影をする生徒  
同右―竹あかりを制作する生徒  
同左―竹あかりのライトアップの様子



## 木津川探検したよ

### 自然と生き物 親子で観察

淀川河川公園で8月6日、木津川に生息する生き物や自然に触れる「八幡の背割堤とグリーンインフラ『水辺の生き物探検隊』」が開催され、市内外から親子連れ25人が参加しました。

同イベントは、川遊びを通じて子どもたちに楽しく自然を学んでもらおうと、琵琶湖・淀川流域圏連携交流会の協力で例年実施。

はじめに、参加者はさくらであい館で、背割堤付近の環境について勉強。水位変動が大きい木津川の河道内では一時的に砂質のよい水域が多く形成され、生き物が育ちやすい環境であることなどを学びました。

その後、みんなで川に入って生き物探し。川底を網ですくうと、オイカワやニゴイなどの在来種のほか、特定外来生物のクダシバもみ見つかり、生き物の体のつくりを観察するなどして楽しみました。

松浦伍輝くん(11)は、「スジシマドジョウやヌマエビの仲間がとれて楽しかった」と話していました。



見つけた生き物を観察する子どもたち

## まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

## 英会話でお茶席体験

松花堂庭園で8月7日、「松花堂夏休み子供特別企画茶道体験教室」伝統文化を英語で説明しよう」が開催され、小中学生20人が参加しました。

同教室は、英会話で茶道に触れてもらおうと、外国人観光客に茶道を教える活動をされている裏千家の先生を講師に招きました。

庭園内の茶室「松隠」に案内された子どもたちは、茶道具の名称や基本的な動作を教わり、英会話でお茶

### 松花堂庭園 夏休み特別企画



席を体験。「お点前ちょうだいいたします」などの挨拶を英語で発音し、先生がたてたお茶を味わいました。

その後、一人ずつお茶たてに挑戦。英語で手順を確認しながら茶碗に抹茶とお湯を入れ、茶せんを使って丁寧に混ぜ、きめ細かな泡がたつたお茶を完成させていきました。

江南萌音さん(13)は、「自分でお茶をたてたのは初めてだったけど、おいしかった」と話していました。

お茶たてに挑戦する子どもたち

## 今月のこの人 高2で全国総体初V 陸上女子400m障害



たきの 瀧野 未来さん  
インターハイ400m障害決勝で、高校2年生歴代4位の記録で初優勝。男山東中学校出身。京都橘高校2年生。

8月5日、徳島県で行われた全国高校総体(インターハイ)の400m障害決勝で、京都橘高校2年生の瀧野未来選手が初の栄冠を手に入れました。

「ハードルは小学生からやっていたので、自信はあった」と話す瀧野選手は、同校陸上競技部の安田文彦顧問や松本幸之顧問などからの勧めもあり、昨秋から本格的に400m障害に挑戦。体幹トレーニングなどのほか、「ハードル間の

歩数調整やスムーズな動作を意識して取り組んできた」と話します。

インターハイ準決勝までは思いどおりの走りができず、不安だったと話す瀧野選手。「やるしかない。全力で食らいつこう」と臨んだ決勝では、最後の直線で両脇の2選手を一気にかわし、初優勝。「優勝は真剣に狙っていたので、うれしい」と充実感をにじませる一方、「自分でレースを作れていない」と課題も口にします。

8月から陸上部の新キャプテンとなった瀧野選手。来年のインターハイに向けて「連覇はもちろん、高校新記録を出して、圧倒的な走りを見せたい」と、初優勝を自信に、主将として「TEAM橘」を引っ張っていきます。

本コーナーでは、市にゆかりのある人物や団体を紹介しています。詳しくは、市ホームページまたは秘書広報課へ。